

九重昆虫記-昆虫の心を探る- 第1巻

宮田彬, 2006.

<目次>

目次 2-4

九重昆虫記序文 5-8

第I部 九重昆虫記 (1-61) 11-71

はじめに／オオルリハムシ／ハラアカコブカミキリ／温暖化の影響／ヒメシジミ／ヒメシロチョウとオオルリシジミ／九重町宝泉寺昆虫館の展示／兄弟仲の良い虫と悪い虫／ツリフネソウトラガ／ベニモントラガ幼虫の群れにリーダが存在？／子育てする虫エサキモンキツノカメムシ／ベニツチカメムシ／オオトビサシガメとヨコヅナサシガメ／ガの求愛行動／チョウの求愛行動／ツマグロヒョウモン／交尾飛翔／美しい世界の起源／チョウは浮気をするか？／トンボの交尾／なせ交尾の研究を始めたか？／アマチュア研究者の功績／交尾中は雄を背負っている雌／譲れない雌上位／チョウとガの違い／対面交尾／ホソバ類の交尾／高原に多いセセリチョウ／チョウとガの形態学的区別／九州産ガの国外分布／ガと植生／照葉樹林系のガ／三千年前の植生図／冷温帯落葉樹林系のガ／ヒメスズメ／一次草原のガ／二次林のガ／九重町宝泉寺昆虫館の閉館／小ガ類・大ガ類／昼行性と夜行性／さまざまな情報収集手段／においによる情報伝達／昆虫にも心がある！／ガのピーク・マーク／ガの後翅が狙われる／チョウのピーク・マーク／鳥はスズメバチより賢いか？／敵を回避する最上の策／両生類の捕食／コウモリの捕食／目玉模様／目玉模様とマント群落／本物の目はどこにある？／尺取り虫／成虫の目玉模様／後翅全体が目玉模様／モズの速贄／バラバラ事件の犯人は誰？／知能と本能／寝込みを襲われたチョウ／バラバラ事件のその後

第II部 偶産蛾物語 (1-63) 75-142

熱帯への憧れ／偶産蛾とは何か？／オオツバメエダシャク／偶産蛾と地球温暖化／A群の偶産蛾／熱帯化する日本／偶産蛾を運んでくる気象要因／旧メイガ科の偶産蛾／キオビセセリモドキとヨツボシセセリモドキ／キオビエダシャク／イチジクヒトリモドキ／ヒトリモドキとベニゴマダラヒトリ／モンシロモドキとマエアカヒトリ／昼行性のヒトリガ類／オオルリオビクチバの記録／オオルリオビクチバの幼虫／オオムラサキクチバとヨコヅナトモエ／サンカククチバと丸毛信勝博士／ミミモンクチバ、チズモンクチバ／アシブトクチバ類／シロガ、クサオビリンガ、ワタリンガ／ナカジロフサヤガ、クロミミモンクチバ／記録の少ないA群の偶産蛾／ホソガ類／フサヤガ、キノカワガ、アツバなど／ツマキオオクチバ、オキナワマエモンヒメクチバ／キマエコノハ／ヒメアケビコノハ／二次発生した偶産蛾／ヒロオビクロモンシタバとウスオビクチバ／サザナミキンウウバ、クジュウキヨトウなど／ホリシャキシタケンモン／ハマオモトヨトウとアカマダラヨトウ／シンジュキノカワガの魅力／シンジュキノカワガの記録／シンジュキノカワガの流跡

線解析／シンジュキノカワガの幼虫／ シンジュキノカワガの擬死／シンジュキノカワガの蛹／ナンキンキノカウガ／ニセタマナヤガの侵入／ニセタマナヤガの周年経過／渡来種ヒロヘリアオイラガ／ ヒロヘリアオイラガの幼虫／ヒロヘリアオイラガの周年経過／キマダラカメムシの分布拡大／アオマツムシの侵入／米軍と一緒にやって来たアメリカシロヒトリ／ アメリカジガバチとアメリカミズアブ／ゴルフブームに便乗したシバツトガ／キョウチクトウスズメ／アカオビスズメとイブキスズメ／サツマスズメ／メンガタスズメ（面型雀蛾）／クロメンガタスズメが増えている？／オオスカシバ／ホシホウジャク／クロホウジャク／ヒメクロホウジャク／ホシヒメホウジャク／ フリッツエホウジャク／結語（偶産蛾と地球温暖化）／偶産蛾物語に引用した文献

第 I 部、第 II 部 共通動物和名索引 147-151